

平成 19 年度第 1 回新潟空港アクセス改善検討委員会 を開催しました。

新潟空港のアクセス改善については、昨秋、「新潟空港アクセス改善検討委員会」が設置され、超短期、短期、中期、長期の段階的取組の必要性和、それに応じた具体的改善案を内容とするシナリオを作成していただき、段階的取組の継続的な評価・提言や、将来の社会情勢の変化等に対応したシナリオの再評価、見直し等の検討を行うべきとの提案をいただきました。

これを受け、県では、段階的取組の実施に向けて有識者等による「新潟空港アクセス改善検討委員会」を設置し、次のとおり、第 1 回の委員会を開催しました。

なお、今回の委員会では、現行 30 分に 1 本の空港バスの運行を、20 分に 1 本にする「空港バス運行頻度アップ社会実験」を 7 月 15 日から半年間実施することで了承いただきました。

記

1. 日時・場所

平成 19 年 6 月 12 日(火) 9:30 ~ 11:30

新潟県自治会館 本館 2 階 201 会議室 (新潟市中央区新光町 4 - 1)

2. 委員の構成 別紙のとおり

3. 主な議論・発言

(1) 空港アクセス改善検討の進め方

- ・新潟空港のアクセス改善の検討を進めるため、超短期、短期的取組については、昨年度設置した「空港アクセス緊急プロジェクト会議」及び、中・長期的取組については、近く JR 東日本旅客鉄道(株)、新潟市とともに設置する「空港アクセス中・長期的改善に係る勉強会」を活用しながら、本委員会で検討を深めていくことを確認した。
- ・委員会の開催とは別に随時メールで委員と情報交換、意見交換を行いながら、機動的に検討を進めることで合意した。

(2) 超短期的取組について

空港バス万代口乗入れの評価について

- ・昨年度の検討委員会での提案を受けて実施した空港バス万代口乗入れ実証実験(H19.3.1~3.31)とその後の経過について事務局から報告を行い、了承された。

- ・ なお、主な委員意見は以下のとおり。
 - 乗り入れによって便利になった。是非継続してもらいたい。
 - 自家用車対策は、路面表示等を実施し、段階的に取り組むべし。
 - 自家用車への告知については路面表示だけではなく、複数の方策を考えて欲しい。
 - 空港等へのバスチケットの自動券売機の設置も検討すべき。
 - ICカードの導入は乗降時間の短縮に効果がある。オムニバスタウン構想と併せて取り組みを検討すべし。

空港バス運行頻度アップ社会実験について

- ・ 空港バスの運行頻度アップによる利便性向上と事業性について検証を行うため、7月15日中旬から6ヶ月間、2段階で社会実験を実施することについて事務局から説明を行い、了承いただいた。
(実験の概要については議事資料参照)
- ・ なお、主な委員意見は以下のとおり。
 - 車両タイプよりも運行頻度を優先して欲しい。
 - 新潟空港でのバスの入線時間を早くして欲しい。入線が遅いため乗車に時間がかかり出発が遅れることもある。
 - 空港内で、空港バス時間のアナウンスと併せてバスチケットの販売についてもアナウンスがあると便利。
 - 社会実験の周知に力を入れる必要がある。特に実験終了後、元の便数に減便になることはよく周知する必要がある。
 - バスの車両タイプ(リムジンバス、路線バス)による効果も検証し、次のステップに活かして欲しい。
 - 社会実験の実施と併せて、ソフト施策面の改良もさらに進める必要がある。

(3) 短期的取組について

南口バス新設の検討について

- ・ 昨年度の検討委員会での提案を踏まえ、「新潟駅南口と新潟空港を結ぶバスの新設」について、今後、ルート、運行形態、提供サービス等について本委員会で検討していくこと、ルートについては、今後、想定されるルート周辺の交通環境の変化を取り込んで選定を進めること、などについて了承いただいた。
- ・ なお、主な委員意見は以下のとおり。
 - 高速道路を利用するルートも検討の対象として加えるべき。
 - バイパスルートは混雑して無理なのでは。空港付近での混雑も激しい。乗り遅れがないか不安。
 - オムニバスタウン構想と重なる部分もあるので、一緒に進めるべき。
 - 柔軟な運行体制を維持できるシステムを考えるべき。交通状況によってルートを変えられる等。

(4) 中・長期的取組について

- ・ 中・長期的取組については、昨年度の検討委員会での提案を踏まえ、新たにＪＲ東日本旅客鉄道株、新潟市とともに軌道系による空港アクセスの３案（新幹線案、臨港貨物線案、在来線活用案）について、実務レベルで検討を行う勉強会を設置することとし、勉強会での検討結果は、随時検討委員会に報告した上で検討委員会の場で議論を深めることについて了承いただいた。
- ・ なお、主な委員意見は以下のとおり。
 - 空港利用者以外の利用も含めた検討が必要ではないか。

本件についての問い合わせは
交通政策局港湾振興課企画班 内線 3458
担当：中川、原田、覚張（がくはり）までご連絡ください。